

## 1 記念館の利用の承認等に関する業務

## ● 来館者数の動向

第3四半期の来館者数は、4,575人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(5,871人)と比べ、1,296人、約22.1%の減となった。令和3年10月1日より緊急事態措置の終了をうけ、展示観覧の人数・滞在時間制限、最終入館時間を通常に戻し、映画鑑賞においても10月12日の上映回から51席に戻した。また、田中絹代監督特集が、東京国際映画祭、フランス・リュミエール映画祭と同時期に開催され、国内外で「田中絹代」に注目が集まり、特別展について多くのメディアに取り上げられたことが影響し、少しずつ観覧者数は伸びてきている。10月9日放映されたテレビ東京『出没！アド街ック天国』にも取り上げられ、11月の来館者数は今年度一番多い数となっている。

月別来館者数:1,247人(10月)、1,879人(11月)、1,449人(12月)

## 2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務

## ● 施設・設備の維持管理

- ・ 通常の設定保守・点検等が適切に実施されている。
- ・ 館内環境について適宜報告があり、記念館の環境維持に配慮した施設管理を実施している。

## ● 資料等の維持管理

- ・ 施設の特性を考慮しつつ、適正な維持管理が行われている。

## 3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務

## ● 上映及び展示

- ・ 展示事業では、9月17日から12月12日まで、特別展「田中絹代ー女優として、監督として」と題し、鎌倉ゆかりの女優・田中絹代の功績を、女性監督の先駆けという側面も含めて振り返る展示を実施した。田中絹代監督特集が、東京国際映画祭、フランス・リュミエール映画祭と同時期に開催され、国内外で「田中絹代」に注目が集まり展示事業の人数は増となっている。また、12月17日から企画展「崩壊と覚醒の70sアメリカ映画」が始まっている。
- ・ 上映事業では、緊急事態宣言の終了を受け、座席数を通常に戻している。また、展示事業と連携し、田中絹代の代表作3作品を鑑賞できる機会として、優秀映画鑑賞推進事業を実施した。『雨月物語』は1回平均50名、『西鶴一代女』は1回平均44名と、予想以上の集客となり、上映事業の観覧者数も増加している。  
今後も映画館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づいた感染拡大防止対策を講じつつ利用者の観覧機会を確保して欲しい。

## ● 調査、研究及び情報提供

- ・ 特別展「田中絹代」に関連する借用資料を整理した。
- ・ 企画展「崩壊と覚醒の1970'sアメリカ映画」資料調査、借用資料下見、イベント打合せを実施した。
- ・ 来年度実施予定の「小津安二郎と市川崑」展について、市川崑記念室にて打合せ、市川崑の資料を調査した。
- ・ 来年度実施予定の「松竹大船撮影所物語」展について、元松竹・松本行央氏と打合せ、山内静夫先生関連の資料を調査した。

## ● 広報及び宣伝等

- ・ 市広報に展览会や上映内容などの情報を掲載しているほか、市役所本庁舎内のモニターや広告パネルによる広告も利用し、より多くの市民等に向けて広報及び宣伝等に努めた。
- ・ SNSの活用、取材対応など、更なる集客に向けた記念館の宣伝強化に努めた。

## ● その他の事業

- ・ 11月2日～11月7日 旧和辻邸特別公開「暮らしの中の金継ぎ＝大脇京子作品展」実施した。(来場者数:延べ621名)なお、大脇京子氏による体験型ワークショップを11月5日、7日に実施した。
- ・ 友の会会員限定で特別展関連の場所を巡るツアーを実施した。(12月2日、4日実施。)

#### 4 その他市長が定める業務等

##### ● 事務処理

- ・ 例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている。  
10月分:11月11日、11月分:12月14日、12月分:令和4年(2022年)1月14日提出

##### ● 事故・苦情対応

- ・ 寿福寺側のスペースにお客様以外の自転車の駐輪が目立ってきたので、10月12日より一様に「駐輪禁止」のカラーコーンを設置したところ、利用者よりクレームが複数あった。→スタッフ内で話し合い、他施設のやり方も参考にして、市民サービスを維持するため、これまで通り「駐輪場は設置しないが、自転車での来館者に対しては駐輪を認める」旨を確認、10月16日にカラーコーンを撤去した。
- ・ その他、事故や苦情等があった際には、内部で情報共有を行い、速やかに対応策を検討し、対応している。

##### ● その他

- ・ キュレーターによる上映後の上映解説や展示解説を実施することにより、観覧者の満足度を高めるとともに、リピーターの獲得に努めている。
- ・ シネマジック&ベティにて、アンスティチュ・フランセ主催の高校生対象の上映+解説企画を見学し、他施設との円滑な連絡相談体制の構築を図るとともに、幅広い年齢層への働きかけを行っている。
- ・ グッズ販売は好調で、冊子「田中絹代の世界」は会期中、95冊と予想以上の売り上げがあった。また、第3四半期期間中は取材に取り上げられる機会も多かった。

#### 5 全体評価

- ・ 今期の来館者数は4,575人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(5,871人)と比べ、1,296人、約22.1%の減となった。しかし令和2年度第3四半期(4,253人)からは322人、約7.6%の増となっている。  
令和3年8月2日から適用された緊急事態措置が9月30日にて終了し、入場制限等も緩和となり、今期の来館者数は展示事業、上映事業ともに増加してきている。  
今後もアンケート等を活用し来館者のニーズを把握し、魅力的な作品上映や企画展示を実施し、来館者の獲得に努めて欲しい。
- ・ オミクロン株の急速な拡大がみられ、令和4年1月21日から神奈川県にまん延防止等重点措置が適用されたため、より一層新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの運営が求められる。今後の感染状況によっては様々な制限が出てくる可能性はあるが、今後も積極的な情報発信等を通して更なる来館者の確保に努めて欲しい。また、オンラインを活用した展示や上映作品の解説など、実施事業の見直しなどについても検討を続け、幅広い来館者の獲得に繋げて欲しい。
- ・ 施設の維持管理などの業務に関しては、細やかな報告が徹底されており、施設管理者に対して市が求める水準に達している。

# 令和3年度第3四半期判定評価表

【鎌倉市川喜多映画記念館】

評価項目	判定点	第3四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
資料等の維持管理			
資料等の維持管理は適切に実施されているか	5	○	
3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務			
上映及び展示			
計画どおりに企画展が開催されているか	5	○	
予定どおり映画上映が実施されているか	5	○	
調査、研究及び情報提供			
映画関連資料等の調査・研究を行っているか	3	○	
研究の成果を公開しているか	3	○	
その他必要な業務			
展示・上映以外の事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

### 減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%